

『アメリカン・ビューティー』のアカデミー賞® 受賞監督最新作



戦場は、あなたの中にある。

ジャーヘッド

ジェイク・ギレンホール ピーター・サースガード クリス・クーパー AND ジェイミー・フォックス

UNIVERSAL PICTURES PRESENTS A LUCY FISHER/DOUGLAS WICK PRODUCTION IN ASSOCIATION WITH NEAL STREET PRODUCTIONS "JARHEAD" JAKE GYLLENHAAL PETER SARSGAARD LUCAS BLACK
AND JAMIE FOXX MUSIC BY THOMAS NEWMAN SUPERVISOR RANDALL POSTER COSTUME DESIGNER ALBERT WOLSKY CASTING BY DEBRA ZANE CSA EDITOR WALTER MURCHAGE PRODUCTION DESIGNER DENNIS GASSNER
DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY ROGER DEAKINS ASC, CSC EXECUTIVE PRODUCERS SAM MERCER BOBBY COHEN PRODUCED BY DOUGLAS WICK LUCY FISHER BASED ON THE BOOK BY ANTHONY SWOFFORD SCREENPLAY BY WILLIAM BROYLES, JR.
DIRECTED BY SAM MENDES
SPECIAL VISUAL EFFECTS AND ANIMATION BY INDUSTRIAL LIGHT & MAGIC
www.JARHEAD.jp
A UNIVERSAL PICTURE
© 2005 UNIVERSAL STUDIOS



かつてない戦争映画、観たこともない人間ドラマ

『ディア・ハンター』『地獄の黙示録』『フルメタル・ジャケット』『プライベート・ライアン』——数々の戦争映画の傑作が、私たちの魂を揺さぶってきた。そして2006年、『ジャーヘッド』が遂に上陸する。海兵隊員に憧れ、厳しい訓練に耐え、狙撃の名手として戦場に来たひとりの若き兵士。しかし、そこには、銃を向けるべき敵がいない。戦場によってエネルギーを発散することもできず、欲求を内側に爆発させる兵士たちは、砂漠でひたすら“待つ”ことで、自分自身、そして仲間との戦いを強いられる。この映画では、主人公が一人も殺さない——かつての戦争映画とは一線を画し、観たこともない人間ドラマを展開する。

テレビで“戦争”を見ていた日本人へ

戦争に直面しない平和な日本人は、他国の戦争をテレビで見ている。そして、戦争を語り、兵士に同情する。テレビの存在によって、私たちは、食事をしながら湾岸戦争を見た。しかしテレビは、戦争の真実を伝えたわけではなく、むしろ、それを隠した。『ジャーヘッド』は、報道されなかった現代戦の真実を暴く、“今、観なければいけない映画”である。

アカデミー賞®受賞監督サム・メンデスが、アメリカを暴く

デビュー作『アメリカン・ビューティー』で作品賞、監督賞他5部門のアカデミー賞を獲得したサム・メンデス監督——その独特な視線で、常に観客を惑わしてきた彼が、今回は湾岸戦争をテーマにしながら、単なる戦争映画の枠を超え、戦争自体の変貌と虚無、そしてアメリカ自体を見事に暴き出す。そして、若き海兵隊員アンソニー・スオフォードを完璧に演じるのは、『遠い空の向こうに』『デイ・アフター・トゥモロー』などの若手実力派ジェイク・ギレンホール。その他、『K-11』のピーター・サースガード、『すべての美しい馬』のルーカス・ブラックなどの注目株と、オスカー2大俳優『シー・ビスケット』のクリス・クーバーと『Ray/レイ』のジェイミー・フォックスが脳を固めている。



全米で大絶賛されたベストセラーの映画化

若きアメリカ海兵隊員アンソニー・スオフォードが、湾岸戦争における自らの戦場での体験を記した回顧録は、発売以来10週以上にわたり全米ベストセラーを維持した。このノンフィクションを超えた『ジャーヘッド/アメリカ海兵隊員の告白』(アスペクト発行)は、ニューヨーク・タイムズから、“戦場の兵士たちの恐怖と退屈、孤独と狼狽と絶望を描ききった、戦争文学の最高峰”と絶賛された。

2006年1月17日は湾岸戦争勃発から15年目に まさにタイムリーな映画

忘れ去られた、風化しつつある“湾岸戦争” 一メディアによって操作された現代の戦争を扱った『ジャーヘッド』は、9・11以降のテロへと続く、アメリカ自身、そして私たちにも関係する映画である。

ジャーヘッドとは

高く刈り上げてお湯を入れるジャーの形をしている髪型を称して、海兵隊員の呼び名となった。うすのろ、バカ、大酒飲みという軽蔑の意味もある。完全志願制の海兵隊のエリート意識を皮肉ってもある。



ジャーヘッド

CAST

ジェイク・ギレンホール『デイ・アフター・トゥモロー』 ピーター・サースガード『フライトプラン』 ルーカス・ブラック『ブライト/栄光への絆』
クリス・クーバー『アメリカン・ビューティー』 ジェイミー・フォックス『Ray/レイ』

STAFF

監督…サム・メンデス『アメリカン・ビューティー』『ロード・トゥ・パーディション』 製作総指揮…サム・マーサー『シックス・センス』『ヴァルッジ』

脚本…ウィリアム・ブレイクス『キャスト・アウェイ』 撮影…ロジャー・ディー・キンス『ショーシャンクの空に』 編集…ウォルター・マーチ『地獄の黙示録』 音楽…トーマス・ニューマン『シンデレラマン』

ユニバーサル映画/UIP配給

2006年、＜正月第2弾＞全国ロードショー